



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

中央地区大会金賞 第59回吹奏楽コンクール



7月9日(日)、「全日本吹奏楽コンクール第59回秋田県中央地区大会」が秋田市の県民会館大ホールで開催されました。

当日は「中学校小編成の部」24校、「中学校合同の部」1校、合計25の演奏がありました。本校吹奏楽部は昨年引き続き、東由利中学校と組んで「中学校合同の部」に出場

しました。限られた練習時間の中で演奏を合わせてきた由利中17名、東由利中14名の仲間が、「なりたい自分」を目指し、心をひとつにして、本当によく頑張ってきました。今回の演奏曲、「マタドールファンタジー」という曲は、フランスの作曲家ビゼーの歌劇(オペラ)「カルメン」の劇中歌「闘牛士の歌」による曲で大変有名な作品です。あのフィギュアスケートの浅田真央選手が10年くらい前にショートプログラム曲に使用した曲ですので、おそらく皆さんも一度は聞いたことがあると思います。

当日は「中学校小編成の部」の最後が、象潟中学校の演奏でした。象潟中は昨年東北大会に出場し、今年はシード校としてトリを飾ったのですが、大変素晴らしい演奏でした。

象潟中の演奏の興奮が醒めやらぬ中、いよいよ「中学校合同の部」となり、本校の演奏が始まりました。音にボリュームがあり、力強さと張りのある軽快なリズムが溶け合い、演奏する者も、演奏を聴く者も、大変気持ちよく曲の世界に入っていくことができました。聴いていて楽しく、そして何よりも「上手くなったなあ」と思わせる演奏でした。側にいた他校の校長先生からも「金賞間違いないな」という言葉を頂きました。

結果は勿論「金賞」です。これから8月1日(火)の「全県大会」に向けてさらに練習に取り組んでいくこととなります。特に、2年生にとって大会直前は職場体験「なりたい自分を目指す14歳に挑戦」と重なりますが、第2期「可能性への挑戦」の締めとして、「自分の可能性に挑戦して最後まで頑張り抜く生徒」の力を見せて下さい。

市教育委員会訪問 子どもたちの育ちを実感！



1年生の数学の授業



2年生の美術の授業



3年生の英語の授業

7月7日（金）の午後、「由利本荘市教育委員会学校訪問」があり、〇〇〇〇教育長・〇〇〇〇教育長職務代理人・〇〇〇〇教育委員・〇〇〇〇教育委員、そしてこの7月に任命された〇〇〇〇教育委員、〇〇〇〇〇学校教育課長・〇〇〇〇由利教育学習課長、〇〇〇〇課長補佐の8名の皆さんがご来校されました。

授業参観では1Aの数学「文字式の利用」、2Aの美術「故郷の風景」、3Aの英語「The 5 Rs to Save the Earth」の授業をご覧頂きました。どのクラスでも、子どもたちが積極的に発表したり、自主的にグループ活動に取り組んだりする姿が見られました。何よりも一人一人の生徒が大変明るい表情で学習に向かう様子に委員さんたちは驚いていました。

また、綺麗に整備された校舎内外、美しく整えられた学習環境、そしてそれぞれの学級の生徒の手による掲示物やその工夫された内容にも感心していました。

丁度委員さんたちは昼清掃の時間に来られたのですが、生徒数が減少した結果、校舎を清掃する生徒の負担が以前より大きくなったにもかかわらず、「無言清掃」で真剣に取り組んでいる姿を見て、心から感心していた委員さんもいました。

協議会では教育長職務代理者の〇〇先生から「本校の特色である同窓会や東京支部と連携を図りながら、中学校が大きなパイプ役として地域とのつながりを深めていることに、改めて中学校の果たすべき役割の大きさに気付かされた。また、研究指定にあたっては教科の枠を越え、教職員が全校体制で同じベクトルで取り組む姿勢は素晴らしい。」とお褒めの言葉を頂きました。

全体会では〇〇〇教育長さんより「生徒の表情や雰囲気去年とは違って見える。とりわけ生徒の明るく交流し合う姿には、これまで継続して取り組んできたNIEや英語の研究指定の成果や創立50周年記念事業を通して培った財産が大きく生きている。何よりも子どもが変わってきた。」

と高い評価を頂きました。〇〇先生や教育長さんからの言葉は、教職員にとって大変大きな自信につながったことだと思います。

そして、「校内に漂う穏やかな雰囲気」「グループの中で自分の感性を表現するだけでなく、他人の感性を大切に聴く姿勢」「子どもたち同士の自然なやりとり」など、各委員さんがのべられた言葉の中に、本校がこれまで取り組んできた「生徒指導の三機能」がしっかりと根付いてきたことを実感することができました。

今回高く評価されたことを励みとし、佐々田教育長さんがよく言われる「生徒に寄り添う指導」を、全職員がこれからもっともっと大切にしていきたいという思いを強くした学校訪問でした。